

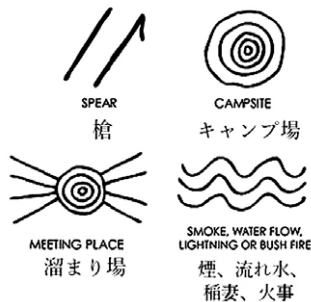
ブレットさんの いんたーなしょなる Volume:21 国際コーナー

オーストラリア原住民のドット・アート

ブーメラン等オーストラリアのお土産によく飾られているドットアートはオーストラリアの原住民の文化だと国際的に認められています。イギリス人がオーストラリアを植民地化するはるか以前の、6万年前からいて、オーストラリアの原住民文明は世界で一番古いものだとされています。

ドット絵では、ドットの使い方が色々あります。まずは物の形を作ること。例えば砂漠風景はたくさんのドットのように見えるので、そのまま描いています。あとは、色んな模様を使って絵で地図や物語を作ります(図を参照)。

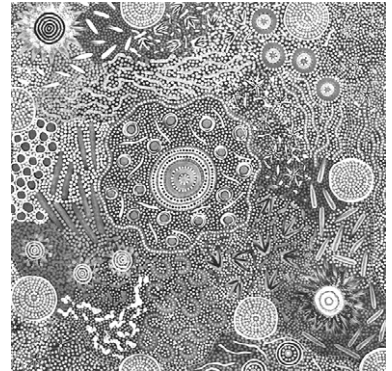
元々は砂で絵を描いてましたが、塗料では大体の



ものをドットで描いています。砂で描くというのは、昔、物語を語り継ぐときに砂でその模様を描いて話しました。儀式のときにも体にペンキを塗ります。話が終わったら、どっちも削ったり、体を洗ったりすることができるので、自分の一族の人にしか部族の文化や秘密を見て知ることはありませんでした。

やがて砂や体からキャンパス使うようになったら、描いたものは誰でも見ることができると気づいて、部外者に部族の神聖な秘密がばらされないようにたくさんドットで絵をぼかして秘密を隠していました。

原住民の絵は部族の土地図や、神聖な大地と先祖に敬意を表するもの、神話の物語等が描かれています。その絵には色んな意味が込められています。その部族の人でなければ絵に描かれている本当の意味を一生知ることはありません。



※ブレットさんの原文をほぼそのまま掲載しています。



地域連携DMO

秋田犬ツーリズム
AKITAINU TOURISM

だより

環境省が取り組む「国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業」の候補地に「十和田湖地域」が選定されました。まだ「候補地」ではありますが、全国の名だたる国立公園の中から選ばれたわけですから、大変喜ばしいことですね。

この候補地として求められる「基本構想(案)」の策定のために開催された「十和田湖1000年会議」に参加してきました。この事業を簡単に説明すると「十和田湖はとてもいいところだから、もっと楽しんでもらえるように今までなかったような宿泊施設を誘致しよう」ということでした。全国的な課題として富裕層が満足して泊まれる宿泊施設が不足していることが挙げられます。我々のエリアも同様でしたが、簡単に解決できることはありません。新たな層の誘客に繋がりますので、秋田犬ツーリズムとしても協力していきたいと考えています。



■お問い合わせ先
秋田犬ツーリズム事務局 (TEL070-2020-3085)

小坂町民児協だより



★10/19「移動研修」

10月は移動研修を行い、災害時の活動や防災について学びました。

◆上新城地区民児協との交流会

大雨による災害が発生した際の活動について情報交換をしました。災害に備え、日頃から自治会や行政と連携をとることが大事だと感じました。



◆秋田県消防防災航空隊の見学

防災ヘリ「なまはげ」の基地を見学し、隊員(鹿角消防より出向の野呂さん)から、活動内容や救助について説明していただきました。残念ながらなまはげは出動してしまいましたが、県警ヘリ「やまどり」の前で写真を撮ることができました。



■お問い合わせ先
小坂町民生児童委員協議会事務局
【福祉課町民福祉班内】(TEL29-3925)